

## 令和6年度 施設としての自己評価

中田 おひさまの森保育園

平素は中田おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。  
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
<b>●保育内容(今年度の重点)</b>		
<b>・愛着についての理解と愛着形成の実践</b>	4	ミーティングで愛着についての理解を深め、実践に活かすために一人ひとり子どもとどのように関われば良いか考え話し合った。子どもの育ちの変化を記録しながら、よりよく愛着を形成していく為の関わりについても、昼礼等で話し合いを重ね実践していった。
愛着についての理解を再確認し、職員一人ひとりが子どもに合わせた愛着を形成する。		
<b>・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践</b>	4	育ちを見通して、その子がどのような声かけをすると意欲が高まるのか検討した。昨年度「叱咤に発した言葉が意欲につながっていたのか」という反省があった為今年度も継続して意識し取り組んだ。状況をよく見て考え声をかけることが増えた。
育ちを分析し、声かけ一つが子どもにどう影響するのかを職員間で検討する。意欲が高まる声掛けを継続して実践する。		
<b>●施設設備</b>		
<b>・保育室環境について</b>	3	季節で変化させるだけでなく、1日の時間帯で環境を変化させ安全、快適な空間を保てるよう努めた。玩具や物の配置を定期的に見直し、安全且つ主体性を育むことのできる環境を考え、変えていった。
子どもの生活環境を安全、快適に保つことができるよう、定期的に環境を見直し変化させる。		
<b>・園周辺環境の活用について</b>	3	行き慣れた場所や散歩コースであっても定期的に見直し、周囲に危険箇所がないかの確認をした。子どもが思いきり体を動かせる場、じっくり自然物に向き合える環境を見つけ、適切な場所やコース選択を行った。変化や気づきがあった際には昼礼等で職員に共有し、共通認識がもてるようにした。
地域の特性や環境への理解を深め、職員間で共通認識をもつ。		
<b>●保健・衛生</b>		
<b>・感染症対策について</b>	2	様々な感染症に対し必要な情報を正しく理解する為、感染症ガイドラインを参考にしたり、嘱託医に相談し指導をいただいたりした。基本的な感染症対策をはじめ、知り得た情報から拡大防止に努めた。
市や地域の感染症動向を把握し、感染予防と対策を行い拡大防止に努める。		
<b>●運営</b>		
<b>・行事のありかたについて</b>	3	言葉や歌から季節に関心をもつ、視覚的にいつもと違う雰囲気を感じる等行事ならではの体験しながらも、「今」の子どもの体や心の変化を表現できる遊びを検討していった。保育者や保護者と話す中で、子どもの育ちを共に感じられる瞬間を大切にしたい。
行事を通して季節を感じたり、「今」の育ちや想いを表現したりすることができる内容を検討する。		
<b>・保護者との連携体制について</b>	3	保護者の想いや状況を受けとめ、どのように保護者と連携をとると子どもの育ちにつながるかを考え支援していくようにした。保護者が保育者と話しやすい環境づくりを常に整えたり、日々の関わりから信頼関係を深めたりすることを行った。
子どもを中心に、保護者との関係性を職員で話し合い連携に活かす。		
<b>・危機管理について</b>	4	ミーティングや昼礼時にマニュアルを確認し、危機管理への意識向上を引き続き行った。日々のヒヤリハットや軽傷報告をもとに安全に保育できるよう環境改善をしていった。
様々な可能性を想定し対応の検討と、実施や見直しを行う。		

**【総評】**

平素より、園へのご理解ご協力を誠にありがとうございます。  
本年度は愛着への理解を職員間で再確認を行うこと、保護者との連携をよりよくすることで、子ども一人ひとりに合わせた保育の実践をしてきました。様々な人や物との出会いを通し、どのように心と体が動いたのか、その子なりの表現をしていたかを保護者や職員と共感し共に育ちを喜び合える瞬間を大切に保育いたしました。  
引き続き保育の質の向上を目指し、安全で快適な環境のもと、この時期ならではの育ちを皆様と見守っていただけるよう、一層尽力して参ります。  
今後ともよろしくお願致します。

令和7年3月1日  
園長 前川冬美香